

科目名	衣装製作Ⅰ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	180	作成者	安田圭織

【科目の到達目標】

将来、舞台業界で活躍するために、自ら課題を発見し、解決に導く力、想像力、発想力、表現力を修得する。

【科目の概要】

基礎的な舞台衣装製作の知識、技術を学ぶために実践実習を中心とする。
舞台上で必要とされる動きや用途に合わせて対応し、機能的で且つ、着装時に演者を美しく見せるためには、どのようなパターンを作成するのか。そのパターンを用いて実践する。衣装を作るまでに、動きを把握し、採寸、パターン、仮縫い、修正、縫製と実習。

【授業計画】 90/コマ	前期	【授業計画】 90/コマ	後期
1.2	パニエ作成 (パターン作成・裁断)	31.32	// ・縫製
3.4	// ・縫製	33.34	// ・縫製
5.6	//	35.36	// ・縫製
7.8	舞台衣装概論 基礎実習(デザイン企画・パターン作成)	37.38	早替えパンツ(パターン作成)
9.10.	基礎実習 ・パターン作成	39.40.	// ・パターン(特殊機能の構造)
11.12	// ・トワール仮縫い	41.42	// ・縫製
13.14	// ・パターンチェック検討 縫製	43.44	// ・縫製
15.16	// ・縫製	45.46	全身タイツ(パターン作成)
17.18	//	47.48	// ・パターン
19.20.	// ・仕上げ 作品発表プレゼン	49.50.	// ・縫製(ニット素材の扱い)
21.22	外部コラボオリジナル作品(デザイン企画・パターン作成)	51.52	//
23.24	// ・パターン作成	53.54	//
25.26	// ・パターン作成	55.56	//
27.28	// ・パターンチェック検討 縫製	57.58	//
29.30.	// ・縫製	59.60.	外部コラボオリジナル作品(デザイン企画・パターン作成)
		61.62	// ・パターン作成
		63.64	//
		65.66	//
		67.68	//
		69.70.	//
		71.72	//
		73.74	// ・パターンチェック検討 縫製
		75.76	// ・縫製
		77.78	//
		79.80.	//
		81.82	//
		83.84	//
		85.86	//
		87.88	//
		89.90.	まとめ

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度20% 試験10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

メンズ教科書 各テクニック教科書、配布プリント等

【教材・教具】

プリント配布 製図用具 縫製用具

科目名	衣装製作1-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	上田安子服飾専門学校

【科目の到達目標】

バレエ衣装の構造を理解し、ベーシックなロマンチックチュチュの制作方法を修得する。
激しい動きに耐えられる造り・縫製や踊りを妨げないデザイン・シルエットの考え方、着る人の身体にぴったり合うサイズで作ることの重要性を理解した上で作品を制作する。

【科目の概要】

世界各地・日本全国でそれぞれ独自の制作方法が発展しているバレエ衣装の現状や課題、今後の展望などを紹介しながら、様々なバレエ衣装制作方法のうち、1つの手法をベースに授業を展開する。

練習として、まず9号サイズのロマンチックチュチュ(装飾なし)を製作し、バレエ衣装の構造を理解させる。
次に、提出作品としてそれぞれがイメージしたデザインで装飾も施したロマンチックチュチュを制作(サイズは自由)。
デザインは重視しないが、「踊る時に着用する衣装」として、「丈夫であること」「サイズ(フィット感)」「振付・動きを妨げないシルエット」「等身バランスを補正する工夫」など、バレエ衣装に必要な仕様上の制約を踏まえた作品であることを、最終的な評価基準としたい。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 **オリエンテーション、バレエ衣装概要**
- 練習用9号サイズ**
- 2 身頃パターン制作1
- 3 身頃パターン制作2
 裁断1
- 4 裁断2～身頃縫製1
- 5 身頃縫製2
- 6 身頃縫製3
 チュールカット
- 7 スカート縫製1
- 8 スカート縫製2
 採寸方法
- 9 まとめ
 提出作品
 身頃パターン制作
- 10 トワール作成、チェック
 オーバースカート製図
- 11 身頃縫製1
- 12 身頃縫製2
- 13 オーバースカート縫製、装飾
- 14-15 まとめ

【成績評価方法】

提出物の評価 70%、修了レポート(期末試験) 10%、授業態度 20%

【教科書・参考書】

オリジナル教材(プリント)配布

【教材・教具】

筆記用具、製図用具一式、分度器、メンディングテープ、紙用はさみ / 洋裁道具一式、ミシン用品(片押さえ(左右とも)必須)、トワール、アイシーテープ、ルレット、両面チャコペーパー / タコ糸12番、平ゴム(ベージュ)、スプリングホックNo.3 / ツイル、シャンタン、チュールなど作品制作材料

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	90	作成者	安田 圭織

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるシャツ、ジャケットにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。また、企業研究に基づいた、各企業に提案出来る創作作品を製作する。

【科目の概要】

ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。また、レディスウエアの基本アイテムであるテーラードカラージャケット(チェック柄)、シャツによりアイテムの構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。

【授業計画】 90分/コマ	前期	【授業計画】 90分/コマ	後期
	1		RTWシャツ(プレタポルテ展示会)
2	〃	32	〃
3	〃	33	〃
4	〃	34	〃
5	〃	35	〃
6	〃	36	〃
7	〃	37	〃
8	〃	38	〃
9	〃	39	〃
10	〃	40	〃
11	〃	41	〃
12	〃	42	〃
13	テーラードジャケット(チェック柄)	43	〃
14	〃 パターントレース	44	〃
15	〃 柄合わせ裁断・縫製	45	まとめ
16	〃		
17	〃		
18	〃		
19	〃		
20	〃		
21	〃		
22	〃		
23	〃		
24	〃		
25	〃		
26	〃		
27	〃		
28	〃		
29	まとめ		
30	〃		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 オリジナルプリント、実物及び、部分縫い見本
『ブラウス』『ジャケット』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、

科目名	パターンメイキングⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習 80%
時間数	120	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	(1/2)パンツ バギー・ベルボトム	31	BEACH WEAR 製図
2	(1/2)ペグトップパンツ・フレアーパンツ	32	トワール組(中縫いミシン)補正後、工業パターン作り
3	スラックスパターン作成(自分サイズ)	33	(1/2)身頃続きの袖(マチ)三角マチ、ひし形マチ、五角マチ
4	デザインパンツ 製図	34	(1/2)どれか1型トワール組み
5	トワール組み(両身)	35	スカートのバリエーション
6		36	
7	ダーツ操作のバリエーション ウエスト2型	37	トワール組み
8	センター・ゴージ	38	
9	ショルダー・アームホール	39	工業パターン作成・仕様書作成
10	襟のバリエーション スタンドカラー2種	40	
11	シャツ・台襟シャツ	41	身幅の移動OP増量→JK、COへ
12	フラットカラー・ステンカラー	42	キモノ袖原型→カット無しへ(2型トワール検討)
13	袖のバリエーション 谷1/3・3/1-1.5	43	メンズシャツ 製図
14	谷1/3-5 トワール組み	44	パーツパターン抜き出し
15	タック・フレアー・ランタン	45	トワール組み
16	ペタル・ジゴ	46	
17	BLOUSE 製図	47	子供服 原型、子供ワンピース
18		48	トワール組み
19	トワール組み	49	ジーンズ 製図
20		50	パーツパターン抜き出し
21	創作ブラウス 製図	51	トワール組み
22		52	
23	上記の中からダーツ操作身頃+襟+袖1体トワール組	53	工業パターン作成・仕様書作成
24		54	
25	工業パターン、仕様書作成	55	マウンテンパーカー
26		56	
27	Tシャツ 製図	57	トワール組み
28	縫い代付きパターン・仕様書作成	58	
29	まとめ	59	まとめ
30		60	

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』
山路俊美『メンズ製図集抜粋』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具、製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
トワール、シルクピン、ミシン用具、鋏

科目名	舞台芸術論	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	大槻剛

【科目の到達目標】

舞台衣装の背景となるオペラ、バレエ、演劇、映画、歌舞伎、サブカルチャーの時代変遷の知識を修得する。

【科目の概要】

舞台衣装の背景となるオペラ、バレエ、演劇、映画、歌舞伎、サブカルチャーの時代変遷を学ぶ。

90分/コマ

1. 舞台芸術とは
2. オペラ、バレエ
3. 演劇①
4. 演劇②
5. 映画①
6. 映画②
7. 歌舞伎
8. サブカルチャー①
9. サブカルチャー②
10. サブカルチャー③
11. アイドルコスチューム
12. 舞台衣装見学①
13. 舞台衣装見学②
14. TV、ドラマ
15. 期末テスト

【成績評価方法】

期末筆記テスト80% 授業態度と出席率20%

【教科書・参考書】

バレエギャラリー30、写真で見る世界の舞踏など

【教材・教具】

筆記用具(ノートとペン)

科目名	和装演習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	長谷川順子

【科目の到達目標】

浴衣を作ることで着物の構造を理解し、和裁の基礎となる“素材を傷めず早くてきれいな手縫いの技術”を習得す

【科目の概要】

和装はテレビや舞台でも需要が増えているため、着物を扱えることが重要となっています。

1本の反物から1枚の着物に仕立てられる、無駄のない和裁の技術を知り、寸法や柄合わせを確認しながら縫いすすめる。

仕上がった浴衣で着付けの技術も学ぶことにより、全ての工程に意味があることを知る。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|-------|--|
| 1 | 和裁の基礎知識
・布の扱い方(運針、くけ、印の付け方、キセのかけかた)
・縫製順序説明 |
| 2 | 運針、くけ練習
・腰紐を作って運針練習
・くけ練習 |
| 3 | 腰紐完成
・キセをかける |
| 4 | 寸法記入、見積もり |
| 5,6 | 裁断
・柄の配置を考える |
| 7 | 印付け |
| 8,9 | 袖 |
| 10 | 見頃内揚げ、背縫い |
| 11,12 | 脇縫い、脇くけ |
| 13 | 衿印 |
| 14,15 | 衿付け、衿くけ |
| 16 | 立裄、裾くけ |
| 17 | 衿のながれ、コテ仕上げ |
| 18,19 | 衿作成、力布 |
| 20,21 | 衿付け |
| 22,23 | 衿くけ |
| 24 | 袖付け |
| 25 | 虫止め、袖くけ |
| 26 | 仕上げ
・コテ仕上げ、アイロン仕上げ、たたみ方 |
| 27 | 浴衣の着付け(腰紐3本、タオル3枚持参)
・タオルで補正、浴衣を着る |
| 28 | 浴衣の着付け、帯結び(腰紐3本、タオル3枚、帯板持参)※帯板はベルト付きがおすすめ
・タオルで補正→浴衣着付け→半幅帯 |
| 29 | 浴衣着付け復習 |
| 30 | 前期試験 |

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

社団法人 日本和裁士会 『新版 和服裁縫 上巻』 平成7年4月1日15版

教員オリジナル配布プリント

【教材・教具】

浴衣反物、半幅帯、裁ちばさみ、糸切りバサミ、縫い針、まち針、指ぬき、チャコ、手縫い糸

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 25% 実習 75%
時間数	60	作成者	小川 雄士

【科目の到達目標】

一年間終了時にアパレル企業やオートクチュール業界で即戦力となるドローイング表現が出来る事日々の学生生活、及び社会人になった際に必要な知識、メンタル、意識力を習得する画力だけではなく、人としての表現力や個性も最大限に引き出し、伸ばす

【科目の概要】

ファッション界の第一線で活躍する為に画力・表現力の向上を目的とし、技術&感性を磨く一般の画材道具の他、学生の感覚を磨く為に道具や意識を変え、長所を伸ばし短所を無くす授業を展開アパレル企業やオートクチュール業界で必要となる技術・知識・メンタル力の習得

【授業計画

90分/コマ

前期

後期

1	オリエンテーション 授業の準備	16	道具 手法 感覚を変化させたデザイン画
2	ヌードボディ 各パーツの復習と応用	17	着色・着飾①基本編
3	基礎画力と表現力の向上	18	着色・着飾②応用編
4	画力と感性を磨く為のトレーニング	19	SNSを活用した販促知識 & 応用
5	柄・影・素材感などの表現	20	選択授業②無限にデザインを考える
6	アートタッチのデザイン画の習得①	21	選択授業③無限にデザインを考える
7	アートタッチのデザイン画の習得②	22	選択授業③デザイン画+プレゼン
8	アートタッチのデザイン画の習得③	23	絵と製作をリンクさせた技術の取得
9	柄・影・素材感・アートタッチ融合	24	スピードドローイング①
10	選択授業①デザイン画	25	スピードドローイング②
11	ハンガーイラスト①基本編	26	ファッション雑学・意識改革
12	ハンガーイラスト②応用編	27	就職&起業の為の予備知識と応用
13	前期の復習・課題確認・相談	28	後期の復習・課題確認・相談
14	前期テスト準備	29	後期テスト準備
15	前期テスト	30	後期テスト

※前期のテストは
ドローイング選手権用の
デザイン画を描く予定

※前後期共に
用意された課題のみ するのではなく
自主的に「自らの課題」を見つけ
作品や商品を生み出す
[自主選択授業]も取り入れます

【成績評価方法】

提出物評価75% テスト20% 授業態度5%
(+@ 先生やクラスメイトとのコミュニケーション力・プレゼンテーション力など)

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』 小川雄士著オリジナルテキスト その他

【教材・教具】

筆記用具、ケント紙、ドローイングペン、着色画材など
使い慣れた道具の他に、普段画材道具として使わない生活雑貨等を使用した授業も展開

科目名	衣装デザイン I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	於保 可那子

【科目の到達目標】

クライアントの意図を読み取り、デザインを提案、イメージをきちんと可視化し伝えることができるようになる。
 またデザインするものにも意図を持たせ、説得力のあるデザインとは何かを考えることを意識させる。
 時間感覚を身につけ、その中でできるハイクオリティとは何かを考察し、まとめあげる習慣をつける。

【科目の概要】

伝統を守りながらも、新しさが要求されるエンターテインメントの世界で何を残し、新たなクリエイションを加えるかを考える。
 ただし、リアルな現場での実践的実習になるので、クライアントの求めるものを読み取る力、時間内・予算内に
 収めるために工夫し、アイデアを出すことができるように指導していく。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1-2	オリエンテーション		31-32 上コレデザイン①
3-4	プレタシャツデザイン①		33-34 上コレデザイン②
5-6	プレタシャツデザイン②		35-36 上コレデザイン③
7-8	プレタシャツデザイン③		37-38 衣装デザイン 演習 I ①
9-10	デザインワーク I ①		39-40 衣装デザイン 演習 I ②
11-12	デザインワーク I ②		41-42 衣装デザイン 演習 I ③
13-14	デザインワーク I ③		43-44 衣装デザイン 演習 I ④
15-16	デザインワーク I ④		45-46 プレタ展ブランディング①
17-18	デザインワーク I ⑤		47-48 プレタ展ブランディング②
19-20	アイドル衣装 デザインワーク①		49-50 プレタ展ブランディング③
21-22	アイドル衣装 デザインワーク②		51-52 プレタ展ブランディング④
23-24	アイドル衣装 デザインワーク③		53-54 衣装デザイン 演習 II ①
25-26	アイドル衣装 デザインワーク④		55-56 衣装デザイン 演習 II ②
27-28	アイドル衣装 デザインワーク⑤		57-58 衣装デザイン 演習 II ③
29-30	まとめ		59-60 まとめ

【成績評価方法】

提出物評価60% プレゼンテーション20% 授業態度20%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具・のり・はさみ・各自参考資料・画材

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
 繊維・糸・布地
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 レース
 布地まとめ
- 7 ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方
- 8 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 9 天然繊維(動物繊維)
- 10 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 11 化学繊維(合成繊維)
- 12 ■繊維の機能性
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 まとめ(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50%(期末試験40%, 小テスト 10%) 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

90分/コマ	前期	90分/コマ	後期
		1	ガイダンス 【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化
		2	古代ローマ～中世
		3	ルネッサンスと衣服
		4	エリザベス1世の誕生 服飾トレンドの認知
		5	メンズファッションの起源
		6	マリーアントワネット: 革命と失脚 ベルエポックとレ・ザネ・フィル
		7	オートクチュールの誕生
		8	世界恐慌とファッションの復興
		9	19～20世紀 フランス: オートクチュールからプレタポルテ
		10	19～20世紀 ロンドン: パンクムーブメント
		11	19～20世紀 イタリア: GUCCIとハイブランドの変遷
		12	19～20世紀 アメリカ: ヴィンテージファッションの特徴と判別
		13	20世紀 日本国内のトレンド: DCブランド～KAWAIIカルチャー
		14	21世紀 情報化社会 サステナブルと新時代の消費
		15	テスト

【成績評価方法】

課題評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教科書「西洋服飾史」

科目名	コンピュータ演習 II	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートオートチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
 アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
 このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

1	自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)
2	” ロゴマーク作成
3	ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)
4	” スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)
5	” レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成
6	” ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック
7	” デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着色する
8	” Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトしポートフォリオを完成する
9	CAD ↓ タイトスカート パターン作成(Pattern Magic) ハンガーイラスト作成(縫製仕様書) タイトスカート2本ダーツ製図 表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成 マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成
10	
11	
12	
13	
14	まとめ
15	テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習*アパレルCAD*

【教材・教具】

プリント配布 データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具

科目名	クリエイティブワーク	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義10% 実技90%
時間数	30	作成者	小川雄士

【科目の到達目標】

衣装分野に特化した縫製・装飾メインの授業。(ウェディング・フィギュア・バトン・チア・社交ダンス・舞台衣装 他)
就職先、または独立後に即戦力になる技術と知識を習得。
正確性、スピード、美、を求められるシーンでのあらゆるテクニックと感性を磨く。

【科目の概要】

今日のファッション業界は既存の技術や知識、感性だけでは生き延びれなくなっている為、
他社(他者)との差別化を図る為の授業が必要。「作る」だけではなくビジネスとして成功する為の感覚を養う。
日本のみならず、世界の舞台でも通用するような人材を育成。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
		1 【オリエンテーション】 自己紹介。カリキュラムの説明 実物の衣装や装飾品等に触れる 2・3 【テクニック・装飾】 ・企業に勤めた時に役立つテクニック各種 ・主にラインストーンの装飾技術習得 4 【デザイン・パターン・裁断・素材・道具】 ・デザイン性と機能性のバランスを考案 ・衣装を作る為の準備、心構え 5・6・7 【縫製】 ・ストレッチ素材、薄手素材、特殊素材 他 ・各パーツ毎に分けた技術習得 8 【講義】 ・就業時に学んだものを後世に伝える ・一点ものの面白さと難しさ ・ビジネスで成功する為の秘訣、裏技等 9・10・ 【縫製・装飾】 ・裾や裏の始末他、アクセサリ制作 ・自ら縫製したアイテムの装飾 12 【復習】 ・過去の復習、おさらい、調整 13・14 【自由課題・プレゼン】 ・個々で作品制作。将来のブランドを意識 15 【テスト・講義】 ・半期の総まとめ。社会に出る為の準備

【成績評価方法】

提出物評価50% テスト20% プレゼンテーション10% 授業態度20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具・縫製道具・生地・装飾品・衣装など

科目名	キャリアデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートオートクチュールコース舞台衣装専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

提出物評価90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント